

令和3年 市長年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春をお迎えのことと慎んでお慶び申し上げます。

旧年中は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業者の皆様にとりましては、先の見えない不安と、いまだかつて経験したことのない、厳しい経済・社会状況の中、感染症の拡大防止等に、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

振り返りますと、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期、ちばアクアラインマラソンの中止、また、本市でも港まつりをはじめ、様々なイベントを自粛せざるを得ない状況となり、市外、県外、また国外からの大勢のお客様をお迎えできず、地域経済への影響も大きなものとなりました。

そのような中、本市では、感染拡大防止と経済社会活動の両立に向け、「木更津市感染症対策支援金」や「木更津市地域の元気応援給付金」など、様々な事業者支援策に取り組むとともに、「木更津市産業・創業支援センター らづ - Biz」では、4月から、センター長と新たに着任したプロジェクトマネージャーの2名体制で業務を開始し、コロナ状況下に対応した売上アップ策や新商品開発など、事業者のサポートを迅速に展開してまいりました。

電子地域通貨「アクアコイン」につきましては、非接触型のキャッシュレス決済、かつ、域内消費を高める地域通貨という特性を生かし、「飲食店応援プロジェクト『きさ食(クー)PON』」や「木更津のお店応援 W キャンペーン」等を行った結果、ユーザー数や利用額等が、昨年度を上回るペースで増加している状況です。

また、内閣総理大臣から「中心市街地活性化基本計画」の認定を受け、パークベイプロジェクトをはじめとする中心市街地のにぎわい創出に向けた様々な事業が本格的に始動いたしました。

迎えました本年は、第2次基本計画が3年目を迎える中、地方創生やオーガニックなまちづくり等の施策を重点的に推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や、市民の生活様式の変化、経済・雇用情勢の動向を的確に捉え、市民の安心・安全の確保や、地域の情報化・デジタル化の推進など、「新しい生活様式」に向けた取組を着実に推進してまいりますので、商工会議所の皆様には、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い終息を願うとともに、木更津商工会議所の益々のご発展と、本年が皆様方にとりまして、大きく羽ばたく飛躍の年であることを心よりご祈念申し上げます。